

広島で再会 頑張り続ければ道は開ける



今年三月まで人事交流で本校に二年間勤務していた佐々木政則先生。現在は広島県立庄原高校で教鞭をとっている。この度、全国高校総会文化祭で広島市に訪問した私たち新聞部は佐々木先生と連絡を取り、お会いすることができた。

佐々木先生は能代には優しく、おらかな人が多いという、初めて能代に来て、たくさんの人が「困ったことはないですか」と声を掛けてくれた。心配をしてくれていた。広島に戻り五ヶ月が過ぎ、能代高校での生活について話を伺った。

能代の人々

先生は能代には優しく、おらかな人が多いという、初めて能代に来て、たくさんの人が「困ったことはないですか」と声を掛けてくれた。心配をしてくれていた。広島に戻り五ヶ月が過ぎ、能代高校での生活について話を伺った。

「ご当地」エピソード

意外なことに、広島では学校で靴は履かず、先生も生徒もスリッパを履く。秋田では周りの生徒や先生が靴やスリッパを履いていたことに驚いたという。能代に行くときに

広島のおすすめスポット

現一年生と二年生は修学旅行で広島を訪れることが決まっている。先生のおすすめは原爆ドーム。原爆の資料館戦争の悲惨さを感じてもらって、今普通に勉強や部活を頑張ることが幸せであると感じて欲しいとのことだ。

能代高校生にメッセージ

素直なところが能代生の良い所だと思う。良しと挑戦をしてくれ。良い大学に進学する人も大勢だが、それ以上に自分が見たいものを見つけて進んで欲しい。人生思い通りにはならないかもしれないが、頑張り続けていけば大丈夫。頑張り続けて自分の道を切り開いてほしい。



佐々木政則先生

「お久しぶりです。」宿泊したホテルのロビーまで来てくださった。広島で会う佐々木先生の広島弁はなんだかかっこよく、大変お元気であった。広島での、先生の熱い心に触れ、私たち新聞部も大変励まされていた。

被爆地広島は、軍都広島であったという。広島市の町にも二面性を知る機会となった。広島市の敷地の中に日本軍の最高司令部があったことが今度の広島城地域取材で初めて知り、衝撃を受けた。当時の最高機関の作戦室があったという、防空壕の中に入ることができた。

(レポート) 宇佐美

地域取材 軍都広島

陸軍司令部作戦室跡 戦争の爪痕残す

この作戦室は北海道、東京、名古屋、大阪、福岡の五都市からの空襲警報を伝達したり、攻撃命令を出したり、当時の最高位の司令官が入れなかつた最高機関だ。この部屋は厚さ15cmの屋根の下にあり、一〇〇トンの爆弾が直下爆発してもびくともしない。

▲原爆ドーム

オバマ大統領から子どもたちへ手渡された折り鶴 (広島平和記念資料館)

学芸員の方のお話

八月六日八時十五分 作戦室内は地下にあったため爆撃が直接届くことはなかったが、気圧が急激に下がったことによる強烈な逆風により、地下と地上をつなぐ小さな隙間から風が流れ込み、室内の網や机人までも吹き飛ばされた。(広島城遺跡 教職員 宇佐美)

魅力的な声で応援をリード

野球場の全校応援をリードする応援団。球場で明々と響いた副団長小玉花菜子さんの声は、とても魅力的だ。学年の女子応援団の存在は、全県全国でも希有である。

Q1 入部したきっかけは?

対面式の時、当時の女子の副団長の応援を見て、すごいと思った。たまたま、他に入部する生徒がいなくても自分は絶対入ろうと思った。

Q2 応援するとき意識していることは?

野球応援の時は、約一時間の間ずっと応援するので、手がなやまない。でも、現在一年生が仕事を進んでやってくれている。シーズンには限られるが、だからこそ一戦一戦悔いの無いように頑張りたい。

Q3 後輩にどんな応援をしてほしいか?

現在二年生がいないため、手本となる人がいない。でも、先輩の歌声が、今の一年生に伝わるように、声が聴こえれば、応援の存在は、全県全国でも希有である。

花菜子さんは能高祭の「のど自慢大会」で優勝

その歌声は、その美声に聞き惚れるファンは多い。歌うときは応援するときの声の出方は違いますが、声量が増えたという話をしてください。

今年の夏は、熱い夏であった。選挙、オリンピック、そして戦争について考えた広島での高松文芸、修学旅行で広島を訪れるという下級生に向けてのメッセージのつもりで、広島の話を書くつもりで、

編集後記

今年の夏は、熱い夏であった。選挙、オリンピック、そして戦争について考えた広島での高松文芸、修学旅行で広島を訪れるという下級生に向けてのメッセージのつもりで、広島の話を書くつもりで、

宇佐美

インターンシップ

インターンシップ先は愛知県岡崎市にある基礎生物学研究所に決めた。三日間実習させてもらうことができた。HPでみた研究は私にとって心惹かれるものばかりで、私がイメージする研究に一致していた。この度の研究は、即社会に還元されるというよりも研究

研究者になりたい 基礎生物学研究所で実習

2E 永塚 さくら

研究者の好奇心に惹かれたもの、研究そのものを愛して、たまたま肉体的な光合成の仕組みを観察したときは、光が拡散していく様子を顕微鏡でみるのができるといって、生命が生きているという美しさに感動した。

実際に研究者の方々と話し、

仕事の様子をみて、研究者になりたいという思いが一層強くなった。何をやるのかは、明確ではないが今回の経験で自分の進路決定に近づいたと思う。

学んだこと

①実験の際の手順、材料の計量に細心の注意を払うこと

②何をしたいのか、相手に何をさせたいのかを常に意識して観察すること

③観察内容を記録に残すための写真や動画をどのよう

に撮り、どのような資料にするか工夫すること

緊張したが、本当に貴重な体験ができた。このような機会を得られたことに感謝し、これからいろいろなことをもっと勉強しようと思っている。

宇佐美

ポケモンGO 安全優先を意識して

七月に世界的にポケモンGOのサービスが開始され、七月十二日には日本でもサービスが始まった。先行サービスの時点から爆発的な人気を見せているポケモンGOだが、同時にプレイヤーがポケモンGOのプレイ中に事故に巻き込まれることが多発しており、その危険性について大きな議論が交わされて

Q1 ポケモンGOで遊んだことがあるか

いいえ 33% はい 67%

Q2 ポケモンGOで遊ぶのは危険だと思うか

いいえ 49% はい 51%

今年度の夏は、熱い夏であった。選挙、オリンピック、そして戦争について考えた広島での高松文芸、修学旅行で広島を訪れるという下級生に向けてのメッセージのつもりで、広島の話を書くつもりで、

宇佐美